



各位

2021年4月5日

上場会社名 株式会社神戸製鋼所
 代表者 代表取締役社長 山口 貢
 (コード番号 5406)
 問合せ先 執行役員 総務・CSR 部長
 中森 慶太郎
 (TEL 03-5739-6010)

業績予想の修正に関するお知らせ

2021年2月5日に公表した2021年3月期通期(2020年4月1日～2021年3月31日)の連結業績予想及び2020年11月5日に公表した2021年3月期通期(2020年4月1日～2021年3月31日)の個別業績予想を下記のとおり修正しましたのでお知らせいたします。

記

1. 通期連結業績予想の修正について

2021年3月期通期 連結業績予想数値の修正 (2020年4月1日～2021年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	1,690,000	10,000	△ 10,000	0	0.00
今回発表予想(B)	1,700,000	23,000	6,000	7,000	19.29
増減額(B-A)	10,000	13,000	16,000	7,000	
増減率(%)	0.6%	130.0%	-	-	
(ご参考)前期実績 (2020年3月期)	1,869,835	9,863	△ 8,079	△ 68,008	△ 187.55

通期連結業績予想の修正の理由

前回(2021年2月5日)公表時と比較し、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益について、上方修正しております。

主な増益要因としては、緊急事態宣言の再発出に伴い、全社的に経費の支出が抑制されたことがあげられます。

加えて、素材系については、主に鉄鋼アルミで前回公表時に織り込んだ半導体不足に伴う自動車の減産リスクが実現しなかったことなどもあり、40億円程度改善する見込みです。

機械系については、為替レートが想定より円安に推移したことに伴い損益が改善した建設機械を中心に、60億円程度増益となる見込みです。

電力については、冬場の電力需給のひっ迫に伴い送電量を増加させたことにより、45億円程度増益となる見込みです。

これらの結果、経常利益の見通しについては160億円上方修正して60億円としました。

2. 通期個別業績予想の修正について

2021年3月期通期 個別業績予想数値の修正（2020年4月1日～2021年3月31日）

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	900,000	△ 35,000	△ 15,000	△ 41.28
今回発表予想(B)	930,000	△ 14,000	3,000	8.25
増減額(B-A)	30,000	21,000	18,000	
増減率(%)	3.3%	-	-	
(ご参考)前期実績 (2020年3月期)	995,447	△ 14,269	△ 48,759	△ 134.22

通期個別業績予想の修正の理由

前回(2020年11月5日)公表時と比較すると、世界的な自動車需要の回復を受け、素材系事業を中心に販売数量が前回想定を上回ったこと、また収益改善策の積上げにより追加のコスト削減を実施したことなどから、経常利益、当期純利益について、前回公表した予想を上方修正しております。

(注)上記の業績予想につきましては本資料の発表日現在において、入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

以上